

令和元年度第1回千葉県学校給食センター運営委員会 議事録

1 日時 令和元年7月25日(木)午後1時15分

2 場所 千葉県新港学校給食センター 2階 大会議室

3 出席者

(1) 委員

大濱委員(会長)、由利委員、大野委員、秋葉委員、戸村委員、大塚委員、三橋委員、石井委員

(2) 事務局

山本保健体育課学校給食担当課長、諏訪給食班主査、藤井公会計班主査、明妻給食班主任指導主事、花ヶ崎給食班指導主事、竹内給食班主任主事、松山公会計班主任主事、小川新港学校給食センター所長、人見こてはし学校給食センター所長、三橋大宮学校給食センター所長、金井こてはし学校給食センター栄養教諭

4 議題

(1) 令和元年度千葉県学校給食センターの予算及び事業計画について

(2) 食育の推進について

5 報告事項

(1) 学校給食費の未納対策について

6 議事の概要

(1) 令和元年度千葉県学校給食センターの予算及び事業計画について事務局から説明し、質疑応答が行われた。

(2) 食育の推進について事務局から説明し、質疑応答が行われた。

(3) 学校給食費の未納対策について事務局から報告し、質疑応答が行われた。

6 会議の経過

○明妻主任指導主事(開会) 定刻になりましたので、第1回千葉県学校給食センター運営委員会を開会させていただきます。会議に先立ちまして、本来ですと、学校教育部長より、ご挨拶申し上げますところですが、本日所用にて欠席させていただいておりますので、学校給食センターを所管いたします、保健体育課の山本学校給食担当課長よりご挨拶申し上げます。

○山本学校給食担当課長(挨拶) 皆さんこんにちは。学校教育部保健体育課学校給食担当課長の山本でございます。本来ですと、学校教育部長より、ご挨拶申し上げますところですが、本日所用にて欠席させていただいておりますので、代わってご挨拶させていただきます。本日皆様方におかれましては、暑さ厳しい折、また大変お忙しい中、本運営委員会にご出席いただき誠にありがとうございます。本年は4名の方が新たに委員としてご出席いただいておりますが、現職の方々、そして新たに委員となられた方々皆様のご協力により、本運営委員会を進めて参りたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。学校給食の目的ですが、従来の栄養補給のための食事にとどまらず、食育の観点を踏まえて、地場農産物を導入した地産地消の推進や行事食・郷土食を献立に取り入れるなどして、学校給食を「生きた教材」とした食育の推進を図ることが求められています。学校給食センターでは、本趣旨を十分理解し、学校職員や保護者の皆様方のご理解・ご協力をいただきながら、安全で魅力ある給食づくりをとおして、食育の推進にも積極的に取り組んでいるところでございます。また、学校給食費についてですが、本年4月から食材価格の上昇に対応し、本市の目指す安全・安心でおいしい給食を提供するため、21年ぶりの給食費の改定を行いました。中学校は1人1食当たり30円値上げしたことで、副食に使用できる金額が増え、おかずの質や量の充実を図ることができました。これもひとえに、保護者の皆様のご理解、ご協力と給食費改定に携わった関係者の皆様のご努力のおかげと認識しているところでございます。最後になりますが、本日の

会議では、委員の皆様には、それぞれのお立場から忌憚のないご意見、ご指導をいただき、有意義なものとなりますことをお願いしまして、私の挨拶といたします。本日はよろしくお願いいたします。

○明妻主任指導主事 続きまして、大濱会長からご挨拶をお願いいたします。

○大濱会長（挨拶） 皆さんこんにちは。ただいまご紹介いただきました会長の挨拶でございます。本日はお忙しい中、また大変お暑い中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。私は、平成24年度から今期で8年目となりますけれども、会長をさせていただいております。個人的には、千葉市の中央区で小児科を開業しております、市内の小学校2校の学校医を務めております。学校給食におきましては、食の安全、食育の推進、また給食費の未納問題等の課題があるかと思いますが、委員の皆様方には、それぞれの立場から積極的なご意見ご指導をいただき、千葉市の子どもたちの健康の保持、増進が図られることを願ひまして、簡単ではございますが私の挨拶と代えさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○明妻主任指導主事 続きまして、委員紹介でございますが、委員の推薦団体の人事異動等により新たに4名の方が、本運営委員会委員に委嘱及び任命されましたので、改めてお手元の委員名簿に従ひまして、ご紹介させていただきます。

《委員・事務局紹介》

以上でございます。本日は、委員10名のうち、8名の出席でございます。「千葉市学校給食センター運営委員会規則」第4条の規定によりまして、会議は成立いたしますので、ご報告いたします。なお、本日の会議でございますが、「千葉市情報公開条例」に基づきます、公開の会議でございます。また、議事録を市のホームページで公開する関係から録音させていただきますので、併せてご了承いただきたいと存じます。それでは、会議を始める前に、本日の資料の確認をさせていただきます。まず、「令和元年度第1回千葉市学校給食センター運営委員会」の「次第」、「座席表」の他、A4用紙の「議題1」から「議題2」までの資料及び冊子でございます。そして最後に、報告事項の資料となります。以上の資料でございますが、もし不足していましたら、事務局まで申し付け下さい。

○明妻主任指導主事 それでは、会議の議事に移りたいと存じますが、大濱会長に議長をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○大濱会長 それでは、議事に入りますので、委員の皆様よろしくお願いいたします。この度、副会長に異動がありましたので、新たに副会長を選出することになります。副会長につきましては、千葉市学校給食センター運営委員会規則第3条第2項により、委員の互選により選出することになりますが、幸町第一中学校長の由利委員をお願いしたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。

○各委員 「異議なし」との声多数

○大濱会長 ありがとうございます。「異議なし」とのことですので、由利委員、副会長席に移動をお願いいたします。（由利委員、副会長席へ移動）

○大濱会長 それでは、由利副会長より、ご挨拶をお願いいたします。

○由利副会長（挨拶） ただいま皆様方のご推薦をいただきまして、本運営委員会の副会長を仰せつかりました千葉市立幸町第一中学校の由利でございます。大変微力ではございますけれども、委員の皆様のご協力をいただきながら、副会長として職責を果たして参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○大濱会長 続きまして、議事録署名人の選出ですが、由利副会長をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○各委員 「異議なし」との声多数

○大濱会長 それでは、議事録署名人は、由利副会長にお願いします。それでは、議事に入ります。まず、議題1「令和元年度千葉市学校給食センター予算及び事業計画について」事務局よりお願いいたします。

○諏訪主査

（議題1「令和元年度千葉市学校給食センターの予算及び事業計画について」資料により説明。）

○大濱会長 ありがとうございます。それでは、ただいまの「議題1」の説明に対しまして、ご意見・ご質問等がございましたら お願いいたします。

○大野委員 給食センターの衛生管理ですが、保健所の立ち合い検査はどのくらいの割合で行っていますか。

○明妻主任指導主事 各給食センターで年1回行っております。

○大野委員 そこで、問題があったとか、指摘事項があったとかありますか。

○明妻主任指導主事 衛生面での問題は、特にございません。

○大濱会長 他にどなたか、特にないでしょうか。給食費が今年度から値上がりになりましたけれども、小学校のほうはやはり値上げしたのですか。

○諏訪主査 15円、小学校は値上げとなっております。

○大濱会長 小学校はそれでは、先ほど出ていた新宿小学校分教室と値段が同じですか。

○山本学校給食担当課長 小学生は、低学年と高学年の金額が分かれておりますが、どちらも上げ幅としては、同じ15円です。

○大濱会長 同じなんですね。他にどなたかありますかでしょうか。それでは議題2「食育の推進について」事務局より説明をお願いします。

○花ヶ崎指導主事

(議題2「食育の推進について」資料により説明。)

○大濱会長 ありがとうございます。それでは、ただいまの議題2の説明に対しまして、ご意見ご質問等ございましたら、お願いします。

○大塚委員 食に関する指導の必要性、位置づけ等に生きた教材としてと書かれていますけれども、実際のセンターで作った給食が学校に行って、現場の学校ではどのような形で教材として生かす、ただ食べているだけじゃないと思うんですね。どんな形で実際生かしているのでしょうか。

○明妻主任指導主事 年間計画にもありますように、給食とともに指導資料や一口メモを配付いたしまして、学校で活用していただくよう給食指導主任会、校長会等とお話しているところです。また、学校ごとに依頼があった場合は、家庭科等の教科の授業にも参画しております。

○大塚委員 具体的にどのように生かしているのか、具体例とか、事例とか。

○明妻主任指導主事 使っている食材を一口メモに載せて、給食を味わいながら、使用している食材の栄養を知ったり、旬を知ったり、行事食を知ったり等、具体的な食育資料として給食を使用しています。

○大塚委員 調理はしていないんですから、そこで調理しているので、調理している人と生徒との交流はありますか。食育推進の必要性や位置付けの目標を高らかに掲げている中、どのように生徒と接して、給食を使って、どこまで現場でかかわっているのか、実際のところを知りたかっただけなんですけれども。

○由利副会長 私は中学校なんですけれども、今事務局のほうから説明がありましたように、その食材についての知識とかの一口メモをいただいた時には、給食の時に放送で流したり、担任が読み上げたりして、今そこにある食材がどういうところでできているものだよとか、例えば千葉市でできたものだよとか、意識して学んでいく。ただ、おいしかったねと言って食べるだけでなく、説明を読んで学んでいくといったこととか、先ほどセンターとの交流、食育ということでしたけれども、本校でも1年生を対象に、食育の授業、学習にセンターの栄養士さんに来てもらって授業をすとか、連携をしているところです。

○大濱会長 只今、給食センターの見学とか、そうものはありますか。確か保護者の方に見学してもらって、食事を食べてもらうということはあったようですが。子どもたちに見学してもらうようなことはないのですか。

○小川所長 新港学校給食センターの所長をしております小川と申します。子供たちに関しては、中学2年生を対象に職場体験がありまして、学校の方でいくつかの職場、事業所等を2日か3日行くんですけども、その一つとして、うちのセンターも提供しています。ただ、保健所所長がおっしゃったように、全体の生徒が来るというのは非常に難しい状況でございます。学校を離れて、この施設を見に来るというのは、非常に難しい部分がありまして、生徒さんが実際に見に来る、全員が見に来るというのは、なかなか

難しいです。それから、保護者の方には試食会と申しまして、センターで作っているところを午前中見てもらいまして、出来上がったものをこの部屋で食べてもらうような試食会を行っております。

○大濱会長 日々の献立に関しては、学校の方には配っているわけですね。例えば、給食日よりとか、そういうもので。実際に食事の時に栄養士の先生から説明があったりということはないけれども、それは学校、学校で違っているんでしょうけれども、ぜひ食育については力を入れて、給食もそうですけれど、給食はお昼の1回だけだから、基本的にやっぱり食生活というのは、朝食と昼食と夕食とございますので、そのところもぜひ朝食のとり方、時々給食だよりも書いてありますけれど、5月には朝食の役割、朝食レシピなんてのがありますけれども、そういった朝食、夕食とか結局は栄養のバランスのとれた食事、朝と昼と夜というのが大事でしょうから、昼を参考にさせていただいて、それ以外に朝と夜どういふものをとればいいのかということの説明していただければと思います。給食に関してはその都度、毎回毎回なかなか今日の食材について説明するのは大変かと思いますが、機会をもって少しでもそういった説明をしていただけたらと思います。その他、市内の農産物の使用状況ですけれども、だいこんは29年度からなくなっちゃただけ、これはどうしたのですか。

○明妻主任指導主事 提供できる農家さんが無くなったためです。千葉市内でまとめて給食センターに納入いただけるその農家さんがいなくなったということです。

○大濱会長 お米に関してはこの3か月なんですか。他の月は。

○明妻主任指導主事 ほかの月は、千葉県産のふさがねで、10月、11月、12月の3か月間、千葉市産の新米コシヒカリを使用しています。

○大濱会長 3か月くらいで、それ以上、市内調達は難しいということですか。

○山本学校給食担当課長 そうですね。こちらは30年度までの使用状況でございまして、令和元年度につきましては、この3か月から延長できないかということで、検討しているところであります。ですのでおそらく、今の3か月よりは長く提供できると考えております。

○大濱会長 それは、それぞれの農家さんの事情もあるでしょうからね。1年間ずっと使うというのは無理でしょうからね。他にどなたかございますでしょうか。

○秋葉委員 戻ってしまいますが、食に関する指導ですが、昨年度、保健体育課さんの方の主導で、市民の給食試食会を行ったと思うんですけど、本校の方でも小学校でやっていただいたんですが、給食センターでも3センターで行われたと思います。その中で、栄養教諭が主体となって市民の方にご説明をしたり、事情をお話したりということがあったと思います。それについて、少しご説明をお願いしたいと思います。

○明妻主任指導主事 30年度より新たな取組みといたしまして、地産地消の食材を使って、学校給食の市民の方を対象に試食会を行ってまいりました。前回は、10月に市民の日の特別メニューを使って、3か所の給食センターで1回ずつ開催したところです。学校給食や食育の状況、課題について、市民の皆様幅広く知っていただきたいということで、共通理解を図り、児童生徒の育成に資することを目的としております。とても好評で、栄養教諭が学校でどういう風に指導しているかということをお知らせしたりとか、実際に給食センターの給食を食べていただいて、「ああ、給食センターの給食ってこんなに温かくておいしいだね」というようなご意見をいただいたり、とても有意義な会でした。今年度も各センターで開催する予定です。

○大濱会長 いかがでしょうか。おいしい給食ということですが、実際に喫食率というのはどうなんでしょうか。ほとんど皆さん食べているんでしょうか。

○山本学校給食担当課長 学校によって、多少差があるんですけど。

○明妻主任指導主事 数値を用意していないので申し上げられませんが、学校や学級によって異なったり、また料理によっても、カレーですとかスパゲッティですとかは食べるのですか、豆の料理だったり、和え物だったり、給食センターで作って学校につくまで時間がたってしまうということや、そういう野菜料理の好き嫌いもあるんですけど、作り手の顔が見えないところから、そういう野菜料理は残ったりという状況があります。

○大濱会長 そういう苦手なものも食べていかなければならないと思うですね。人気のあるカレーとかそういうものは皆さん食べるんですけど、やっぱり嫌いなものであってもしっかり食べるということが大事だということを特に教えていただいて。バランスとれた食事を作っているわけですから、全て食べ

るということが、ただ給食を提供するだけでなく、子供たちにすべて食べていただくということが栄養バランスのとれた食生活にとって大事なことです。やはり好き嫌いがある中で喫食率がかなり差があるということはよろしくないと思いますので、そのところは工夫していただければと思います。

○石井委員 今のところで、いいですか。和え物が残るといことですが、小学校の給食では今ほとんど残らないんですけども、それが中学校に入ると極端に残るとい、残るといことはやっぱり何か指導方法といか学校での指導でひと工夫あれば食べてくれるのかなと思いますが、たぶん市内小学校すべて調査すれば、残さい率はほとんどないですから、ほとんど空にして返すような形で指導しているので、中学校に行くとセンター方式になって急に残さいが増えるといのはどこかもう一歩の指導方法が足りない気がしますんで、ちょっとその辺をご検討いただいて、学校と連携をとってやっていけば、少しでも減らせるような工夫ができるんじゃないかなと思いますので、よろしくお願ひします。

○大濱会長 そうですね。やはり、フードロスとかそういうことが問題になっていますので、なるべく一生懸命作ったものについて、食べるといつた指導をしていっていただければと思います。その他ございませうでしょうか。

○石井委員 アレルギーについてお聞きたいんですけども、現状ではアレルギー対応といのはどの程度、生徒さんの方にやっているんでせうか、現状についてお聞きたいんですけども。

○明妻主任指導主事 給食センターでは、除去食の提供は行っておらず、詳細な献立表、献立のすべての食品が乗った献立表の提供を行っています。年度初めに詳細な献立表の提供が必要かどうかを保護者に調査して、必要な場合は保護者から申請書を出していただいて、それについて給食センターで料理ごとに使われている食品をすべて記載した献立を学校あてに個人の名前を付けた献立表を全員に印刷して配付しているとい状況です。

○石井委員 全員で何パーセントぐらいですか。

○明妻主任指導主事 29年度ですが、生徒数24,090人で、対応数694人、献立の配付439人、牛乳停止194人、代替食持参109人、弁当持参が22人といところですよ。

○大濱会長 よろしいでせうか。結局、給食センターでは、アレルギー食といのは提供していないといことですね。詳細の献立、食材についての献立表を、そういったアレルギーのある家庭にはそれを配る。その行うごとに判断して、どうしてもほとんど除かなければならないとい日にはお弁当となってしまうといことですね。他にどなたかございませうか。

○石井委員 もうひとついいですか。食育推進のための生きた教材としての学校給食とあるんですけども、この中で国際理解のための献立の工夫を行うこととあるんですけども、何か今年度これに関して献立を予定しているものがありますか。

○明妻主任指導主事 はい、共通メニューで7月に、東京2020オリンピックパラリンピック競技大会が行われることから、その応援メニューとして、本市で開催されるテコンドー発祥の地の韓国の料理を全校で提供しました。ヤンニョムチキンを取り入れ、ケチャップと豆板醤のソースのチキンでとても人気、好評なメニューでした。これによりオリパラへの興味を高めるとともに、いろいろな国の人が外国からやってきて、こんな料理があるんだよといつた料理の面から国際理解を深めていきたいと考えております。

○大濱会長 それ以外にもいろいろな外国の料理も提供しているんですよ。

○金井栄養教諭 こてはし給食センターの栄養教諭の金井です。センターごとに献立を立てているんですけども、センターごとに計画的にいろいろな国の料理を入れて、バラエティに富んだ献立になるようにといこともあって、いろいろな料理を入れていませう。

○大濱会長 他にありますか。よろしいでせうか。それでは最後の、報告事項「学校給食費の未納対策について」事務局よりお願ひいたします。

○藤井主査

(報告事項「学校給食費の未納対策について」資料により説明)

○大濱会長 はい。ありがとうございます。それでは、今年度の報告について何かご質問、ご意見等、ございませうでしょうか。よろしいでせうか。あの、公会計になって、30年度からでせうけれども、未納

金額が、徴収率もちょっと若干減っているようでは、そういった徴収率が減った理由というのは、どんなことでしょうか。

○藤井主査 公会計ということで、学校で直接、先ほど申し上げたような督促ですとか。面談での催告のようなものを行わなくなったこともございまして、今までの学校における密な働きかけというものが無くなるということもありまして、一般的に政令市の調査ではあるんですけども、公会計を実施した自治体と実施していない自治体で、29年度当時の調査によると2%程、徴収率が下がる、違うという統計結果もでておりまして、千葉市といたしましては、未納額も大きな額となりますので、2%という試算すると7000万という、そういった額が新たに未納になるということをご想定しておりまして、先ほど申し上げたように(1)から(6)を含めて徴収対策を実施したということと、あとは、なんといっても口座振替の登録率、納め忘れを防ぐという点ではですね、こちらの方を先ほど申したような現在99.56%という数字を達成しておりますので、この点についても学校が皆様に、口座振替についての登録については学校に提出をしていただく、そのご協力もしていただきながら、高いものが達成できましたので、それが多少効果があったとは思っておりますが、今回1000万円という額が出ていますので、今後少子化ということで調定額はどんどん下がっていくかと思っておりますので、未納金額が今後は1000万超えるということはないようにということでこれを低下させていくということで精進していきたいと思っております。

○大濱会長 公会計化したことが、私会計よりも透明性もはっきりしてくると思うんですけども、それによって逆にその徴収率が下がってしまうということが、ちょっと矛盾したところがあると思うんですけども。公会計化すると学校の方もなかなか保護者の方には言えなくなってしまうんですか。

○藤井主査 直接持ってきてお預かりするということができなくなりますね。銀行で、この用紙を使って、振り込んでくださいというお願いをするような形になります。その点では保護者さんの手間が2度になるということはありません。

○大濱会長 今後その辺のところは、今回公会計化に移行したわけですから、今後はですね、さらにしっかりと、徴収率を上げていただけるようにしていただければと思いますけれども。

○藤井主査 他部署の事例とか、他市の事例とかを研究、検証して行って、努めていきたいと思っております。

○大濱会長 全国的に公会計化すると少し徴収率が下がるということをお聞きしましたが、これから先、少しずつまた徴収率をまた上げていただければと思います。結局口座振替しても、引き落としができないという状況で、99.56%であれば、それ以上は徴収できるはずのものが、していないということは口座振替してもその時できないということで、コールセンターでお知らせしているようですが、お知らせによって、振り込んでいただける、口座振替ができるようにまできているのでしょうか。

○藤井主査 昨年度の第2期分については、1回目の本振替で不能になったあるいは残高不足だったものが、2回目の再振替で1800万の納付がありましたので、ある一定の効果があったと思っております。

○山本学校給食担当課長 コールセンターにつきましても、30年度は4000件程度であったんですけど、今年度については10000件位に増やし、方々にかけてもらっています。まあ、簡単に言うと、今まで学校の、要は保護者から見たら、顔を知っている先生が徴収業務をしていて、顔が見える対応をしていたのが、公会計化によって、市が徴収業務をやるということで事務的な処理といいますか、千葉市から文書とか決定通知書が送られて来てということで、そういったところで、対応の部分で、逆に学校でやっていたのが丁寧だという言い方もできるかも知れないんですけども、そういったこともあって、どうしても移行した年については、一旦徴収率が落ちるというのが、これは文科省の方もそこは認識しております。今もう、文科省の方でもそれを課題としてとらえておりまして、その対策を調査しているところで、今年度中にはそのあたりのガイドラインが示されることになっておりますので、その辺も出てきたら参考にしていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

○大濱会長 その他ございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、事務局のほうから「その他」何かございますか。

○山本学校給食担当課長 その他はございません。


○大濱会長 それでは、これで「令和元年度第1回千葉市学校給食センター運営委員会」を終了いたします。本日は本当に活発なご意見をいただきましてありがとうございました。では、事務局にお返しいたします。

○明妻主任指導主事（閉会） 長時間にわたりご審議いただきまして、ありがとうございました。これにて令和元年度千葉市学校給食センター運営委員会を閉会させていただきます。

上記議事録は、事実と相違ないことを確認し、ここに署名押印する。

議事録署名人
副会長

令和元年9月4日

由利知子 

問合せ先：千葉市教育委員会学校教育部保健体育課
043-245-5945